



さか い だ  
坂井田

しげる  
茂

いっ しん かい  
一 津 会

## 小中学校における生徒指導に関して

**問** 学校内でのアンケート調査（心理検査等）は、いじめ防止だけでなく、子どもの困り感や学級への不適応等を教師が把握する上で、生徒指導上、非常に有効であると考えます。市内の小中学校でも、学校単位あるいは中学校区単位で全小中学校が積極的に取り入れている地域があると聞かれますが、津市全域におけるアンケート調査の活用状況は。

**答** アンケートを実施するに当たり、いじめとは何か、いじめを許さないという学校の姿勢をあらかじめ児童生徒に明示するように改めていく。アンケート内容についても、単にいじめの有無を問うだけでなく、いじめにつながる前兆をつかめるような項目を検討して、特定の項目にチェックが入った場合には、必ず結果を校内で共有する仕組みを明確にしていきたい。アンケート調査（心理検査等）は、平成27年度に小学校40校と中学校19校で実施している。このうちQ-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）は、小学校14校と中学校11校で実施している。調査結果については、校内で共有を図り、教育相談での児童生徒の理解や、学級づくりの取り組みに活用している。

## ●その他の質疑・質問●

○津市における「義務教育学校」設置に関して

- 設置に至った経緯は
- 運営上の利点と課題は
- 小中学校両方の免許を有する教員の人数は
- 津市小中一貫教育推進計画との関連は

○美里地域に続き、将来的な「義務教育学校」設置計画の考えはあるのか など



▲着々と工事が進む義務教育学校みさとの丘学園



か とう み え こ  
加藤 美江子

こうめいとう き いんだん  
公明党議員団

## 生活習慣病予防は子どものときから行うべき

**問** 香川県のある町では、1987年から中学1年生を対象に血液検査を実施している。これは当時、町の校医であった医師が、体調を崩した生徒たちの血液を検査したところ、血糖値などの異常が見つかるケースが目立ったことから、血液検査の必要を訴えて始まった取り組みである。津市も子どもの生活習慣病予防に注力すべきではないか。

**答** 津市第2次健康づくり計画の中では、糖尿病等の生活習慣病予防を重点的な取り組みとして位置づけている。

保健センターでは幼児健診など母子保健事業を通して、食事や睡眠、歯磨きなどの基本的な生活習慣を身につけるための方法について働きかけている。

また、幼稚園では園だより等で早寝早起きの大切さや生活リズムについての啓発に、学校では望ましい食習慣等を身につけられるように給食や授業による指導などに取り組んでいる。

平成28年度は第3次健康づくり計画の策定を予定しているが、しっかりと生活習慣病予防を位置づけ、香川県内の町の取り組みも参考にしながら進めていきたいと考えている。

## ●その他の質疑・質問●

○教育行政について

- 教育方針から
- 部活顧問の配置について
- 裁判判決に対する控訴について

○子ども・子育て支援事業

- 少子化対策としての「津市出会い応援事業」の成果は



▲津市第2次健康づくり計画